



4月号

令和3年4月7日

横浜市立東中田小学校

校長 天野 直美

TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

セーフティ サステイナブル サポート  
SAFETY SUSTAINABLE SUPPORT

校長 天野 直美

令和2年度の卒業式は保護者の皆様が見守る体育館で、77名全員の子どもたちに卒業証書を手渡すことが出来ました。当日の朝に教室を見てまわっていると、在校生から卒業生一人ひとりに寄せた感謝の手紙が机の上に置かれており、それを見た私は感動を覚えました。昨年度は新型コロナ感染拡大防止のため、本校の教育活動の柱である「たてわり活動」がほぼできませんでした。卒業生も、6年生になったらたてわり活動で下級生をリードすることを楽しみにしていたのに、それが出来なくて悲しかったそうです。しかし、子どもたちと先生方はあきらめることなく、できる方法を探して取り組みました。全校一斉のたてわり活動はできないけれど、ペア学年同士ならできることがあると、交流を計画しました。6年生は1年生のサポートをするきっかけとして、最初に広い体育館でペアの1年生との顔合わせを行い、その後交流実行委員会を立ち上げて、掃除の仕方や給食の牛乳パックの開き方の動画を作成して1年生に送りました。このようにして子どもたちは「密」を避けながらできることを考えて、様々に行動していきました。さらに6年生の姿を見た下級生も後に続けました。校外学習から帰った時などの「お帰り、頑張ったね。」のメッセージ交換、動画作成や校舎内外の環境整備、人と人をつなぐためのツールの開発など、これまで以上に積極的に「児童会活動」や「自分づくりカリキュラム」を通して人とのつながりをつくる活動に力を入れて取り組んでいったのです。するとこれまでより各学年において自立する子どもの姿を見ることができました。子どもたちは「前へ進むためにできることをやってみよう。」という気持ちのもち方を身に付けているように感じました。私にとって令和2年度は子どもたちの意識や行動から学ぶことがとても多かった1年間であったと思います。



さて令和3年度は、89名の1年生を迎え、全校児童529名で始まりました。私は東中田小学校校長としての5年目を迎えることとなりました。今年度のスローガンは、昨年度子どもたちの姿から学んだことを生かして、「セーフティ サステイナブル サポート SAFETY SUSTAINABLE SUPPORT」としました。安全に配慮し、今ある教育活動の持続可能な取組への見直しを行い、児童一人ひとりの気持ちに寄り添う支援体制確立を目指して学校運営に取り組んでまいります。なお今年度中田中学校、中田小学校と共に「3校合同学校運営協議会」が立ち上がる予定です。これまで以上に地域・保護者の皆様と力を合わせ、「だれもが安心して豊かに」学ぶことが出来る東中田小学校を創るため努力してまいります。よろしくお願いいたします。